



「ITS世界会議 東京2013」概要

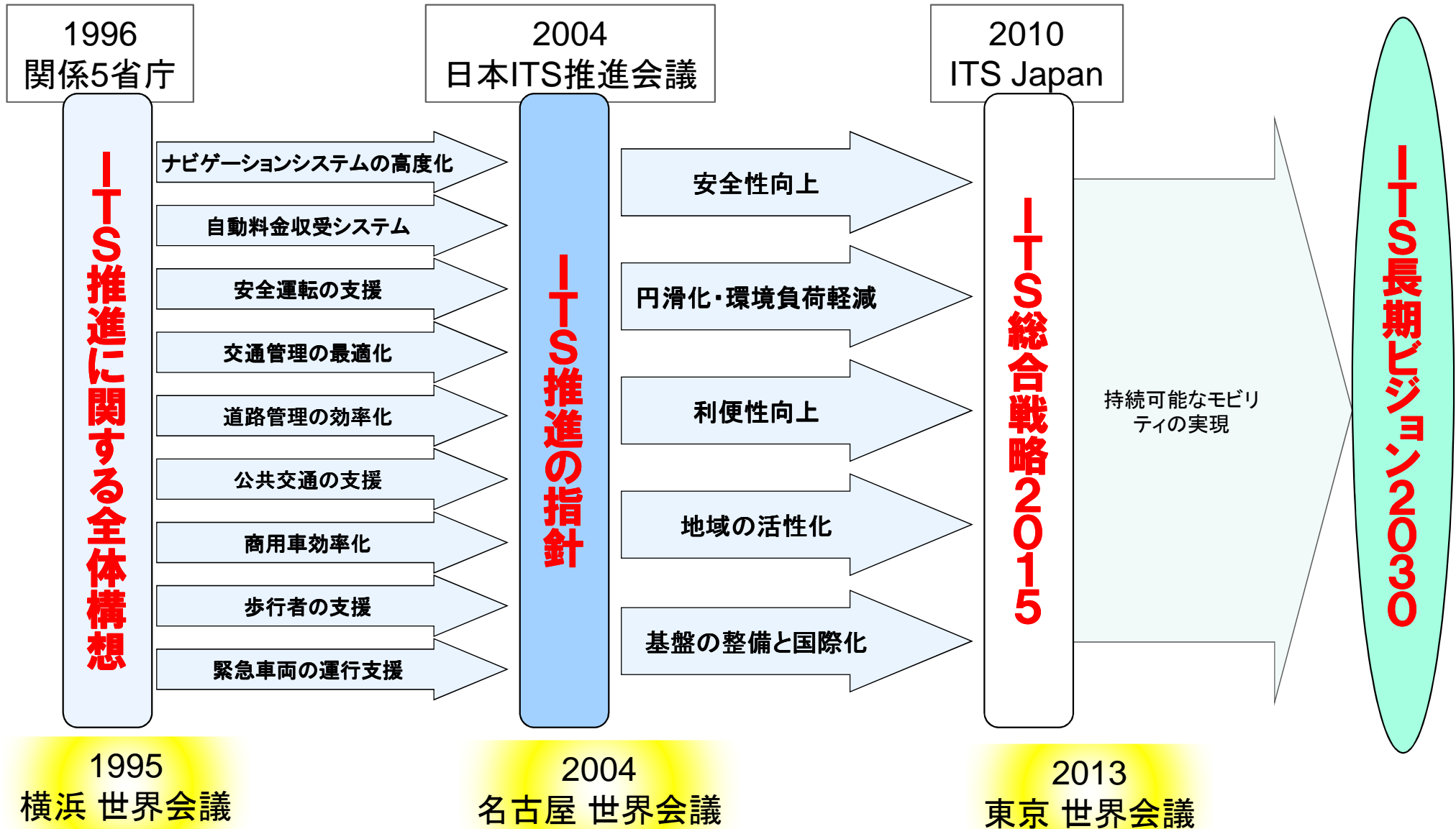
2013年7月10日

日本組織委員会 事務局

ファースト・ステージ
(実用化の推進)

セカンド・ステージ
(普及と社会還元加速)

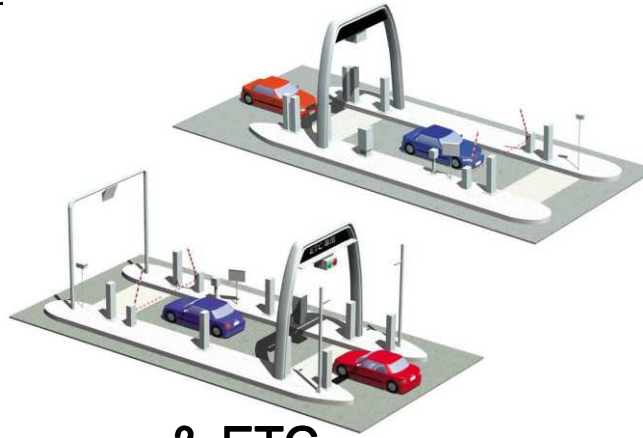
次世代ITS
(社会的課題への対応)



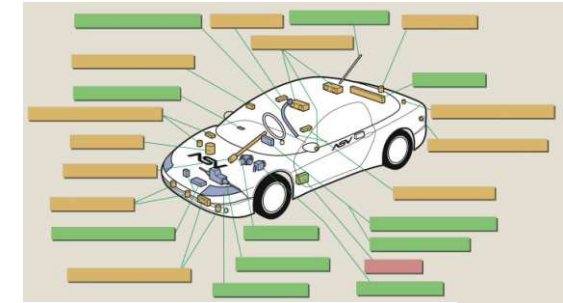
ITS全体構想(1996)における9つの開発分野



1. カーナビゲーション



2. ETC



3. 安全運転支援



4. 交通管制



5. 道路管理



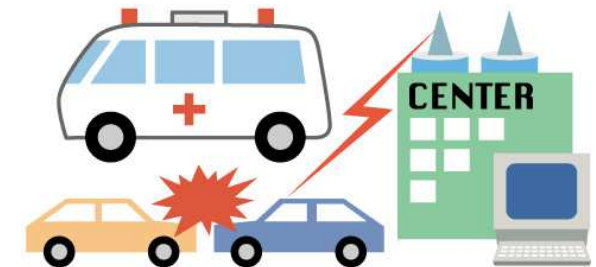
6. 公共交通運行管理



7. 商用車運行管理



8. 歩行者支援



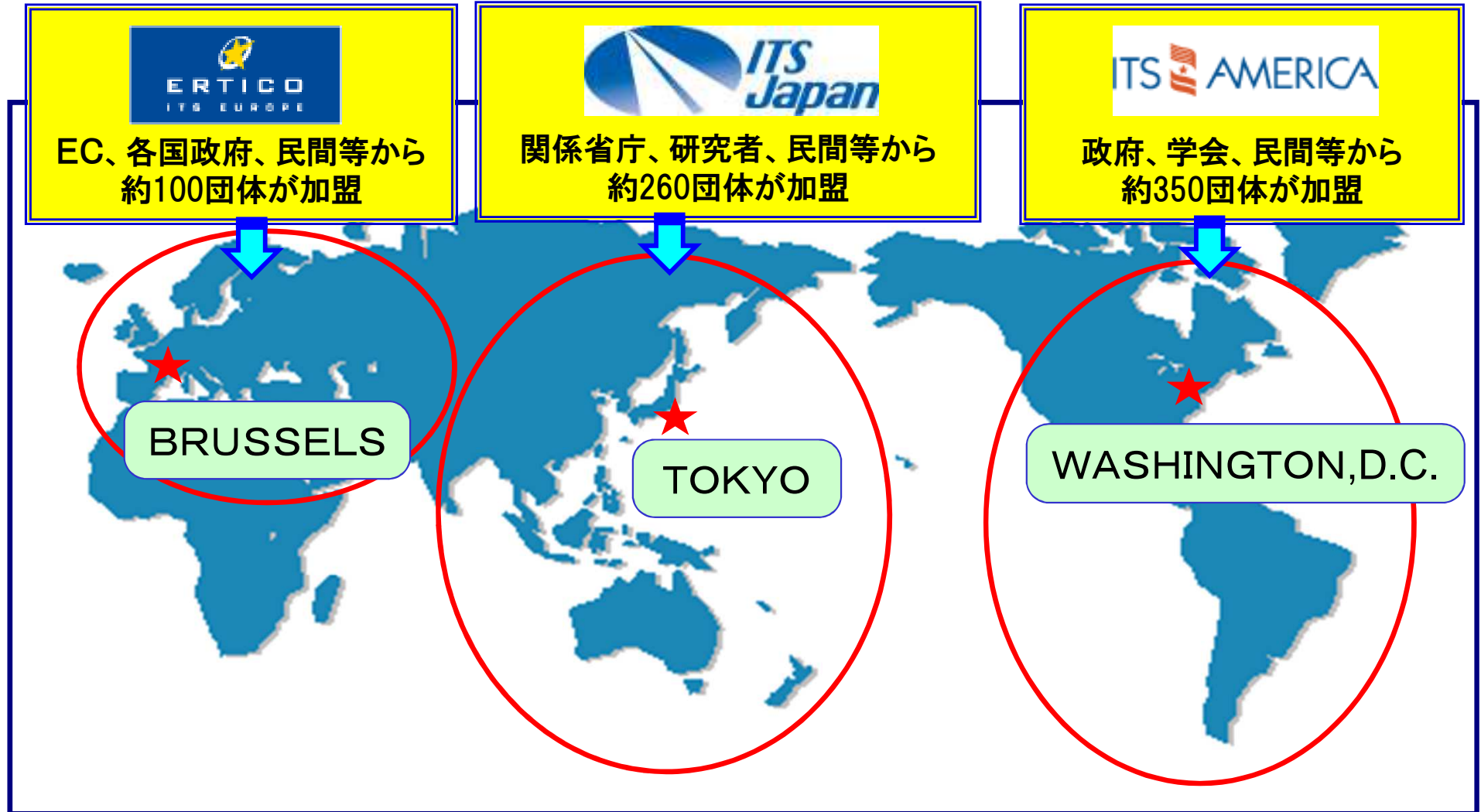
9. 緊急車両管理

世界3地域のITS組織とITS世界会議

ヨーロッパ

アジア・太平洋

米州



ITS世界会議: 世界の3地域を代表するITS団体が毎年共同で持ち回りで開催

ITS世界会議の開催規模

年	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003
開催地	第1回 パリ	第2回 横浜	第3回 オーラント [®]	第4回 ベルリン	第5回 ソウル	第6回 トロント	第7回 トリノ	第8回 シドニー	第9回 シカゴ [®]	第10回 マドリッド [®]
参加国	11	38	37	43	50	58	53	46	42	75
参加者 (登録者)	2,200	3,400	5,000	3,000	3,564	4,661	5,707 (3,850)	3,818 (2,121)	4,536 (2,181)	6,270 (3,000)
出展数	74	49	150	189	85	152	197	166	239	233
論文数	483	469	797	594	768	540	611	500	512	727

年	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013
開催地	第11回 名古屋	第12回 サンフランシスコ	第13回 ロンドン	第14回 北京	第15回 ニューヨーク	第16回 ストックホルム	第17回 釜山	第18回 オーラント [®]	第19回 ウィーン (速報値)	第20回 東京 (目標値)
参加国	53	55	75	52	66	64	84	59	91	60以上
参加者 (登録者)	61,394 (5,794)	7,130 (2560)	7,262 (3,067)	40,000 (2,300)	5,501 (3,298)	8,512 (2,801)	38,700 (4,317)	6,510	10,000	8,000以上 (4,000)
出展数	250	163	243	163	250	254	213	210	304	700小間
論文数	763	710	899	851	1,021	811	1,037	1,037	871	1,000

オープニングスピーチ



Patrick McGowan
世界会議組織委員長



Alan Taub
GM社副社長



Ignacio González-Domínguez
Telvent 社CEO



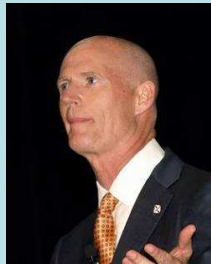
G. Winfree
RITA局長代理

ラウンドテーブル



各地域の交通行政リーダーを集めたラウンドテーブル

米国: 米国運輸省RITA(研究・革新技術局)の局長代理
スウェーデン: 企業エネルギー省インフラ担当大臣
アルゼンチン: 道路行政部 部長
中国: 運輸交通省副大臣
オーストリア: 交通省 副局長
ドイツ: 交通・建設・都市開発省 局長 等



Rick Scott
フロリダ州知事

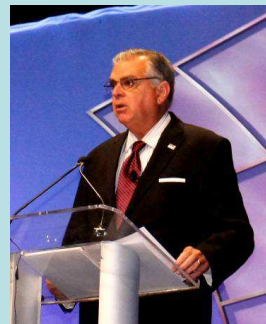


Zoran Stančić
EC DG INFO
副局長



黒田 篤郎
経済産業省
大臣官房審議官

プレナリーセッション(基調講演)



LaHood DOT長官



Bill Ford
フォード社会長

オープニングスピーチ



オーストリア交通技術省大臣
Doris Bures



欧州委員会輸送担当委員副委員長
Siim Kallas



国土交通大臣政務官
若井康彦



ERTICO-ITS Europe 会長
Jean Mesqui



ITSAmerica 会長
Peter Sweatman

開会式



閣僚級ラウンドテーブル



各国から約30人の閣僚級スピーカ、約120人のオブザーバ

日本：若井康彦 国土交通大臣政務官
秋山俊行 東京都副知事 が出席

ITS世界会議東京2013の開催概要

時 期:2013年10月14日(月)~18日(金)

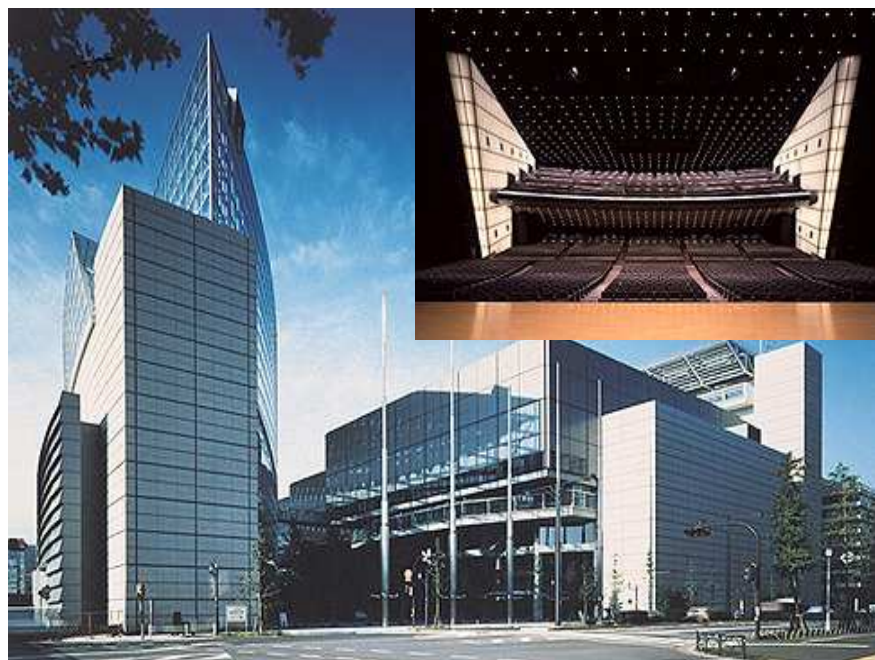
場 所:東京国際フォーラム(10月14日) 開会式
東京ビッグサイト(10月15日~18日)
セッション(会議)、展示会、閉会式 等

一般公開日: 10月17日、18日の2日間

開催テーマ: 『Open ITS to the Next』



<ロゴマーク>



東京国際フォーラム



東京ビッグサイト



ITS世界会議東京2013の推進体制

日本組織委員会

(承認・決定機関)

産官学のメンバー
にて構成

委員長 : 渡邊浩之 (ITS Japan会長)

副委員長 : 猪瀬直樹 (都知事)

企画・運営委員会

(審議・調整機関)

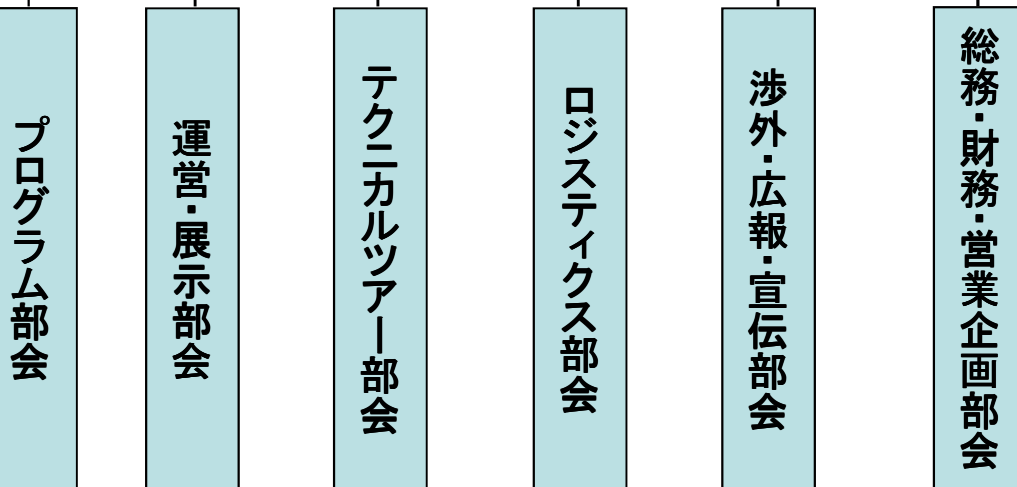
委員長: 藤江一正 (IPA理事長、ITS Japan副会長)

日本組織委員会 事務局

事務局長: 花井利通 (ITS-J常務理事)

合同部会

議長: 天野肇 (ITS-J専務理事)、副議長: 五十嵐誠 (東京都部長)



日本組織委員会委員構成

- ・委員長 (ITS-J会長)、副委員長 (都知事)
- ・関係自治体 (2)、学会 (1)、経済団体 (1)
- ・民間企業 (12): 沖、住電工、デンソー、東芝、トヨタ、日産、日立、NEC、富士通、本田技研、パナソニック、三菱電機
- ・関連団体 (11): 自工会、電波、道路、地図関係、等
- ・ITS-J関係 (2): ITS-J副会長、専務
- ・関係省庁 (7): 内閣府、内閣官房、警察庁、総務省、経産省、国交省道路局/自動車局

企画・運営委員会メンバー

◇ 常任理事会社

- ・住電工 ・デンソー ・東芝
- ・トヨタ ・日産 ・NEC
- ・富士通 ・本田 ・パナソニック
- ・自工会 (オブザーバ)

◇ 東京都

◇ ITS Japan

◇ 部会 (正副部会長)

- ・プロ部会 ... 東芝 - 富士通
- ・運営部会 ... 日産 - デンソー
- ・テク部会 ... 住電工 - 三菱電機
- ・ロジ部会 ... パナ - 日立
- ・渉外部会 ... トヨタ - 沖
- ・総務部会 ... 本田 - NEC

◇ 事務局出身元

- ・東京都 ・日産 ・トヨタ ・パナソニック
- ・住電工 ・東芝 ・NEC ・デンソー
- ・ホンダ ・OKI ・三菱電機 ・富士通
- ・三菱自工 ・アイシン精機

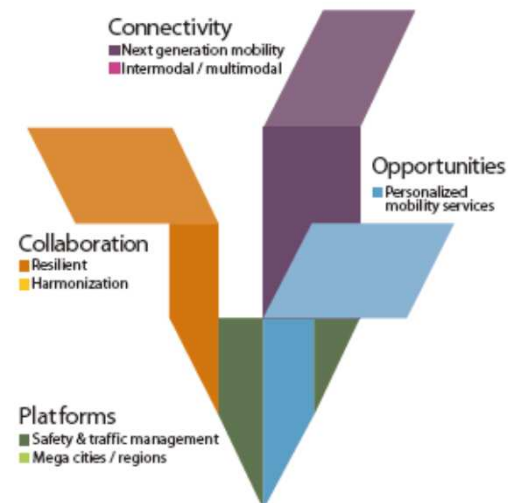
ITS世界会議東京2013の会議コンセプト

“Open ITS to the Next”

ITSは次世代のモビリティを形作るべく新たなステージに入ります。
従来の取り組みである「交通事故や渋滞などの課題の解決」に加えて、
「電気自動車などの出現によるエネルギー・マネジメント分野との連携」、
「ネットワーク化社会における新たなビジネス機会の創出」、
「東日本大震災の教訓を活かしたレジリエント*な交通社会の実現」、
の3つの領域へその裾野を広げつつあります。

Openをキーワードにした 会議コンセプトの4つの軸

- Open platforms
- Open connectivity
- Open opportunities
- Open collaboration



*:「弾力のある」「回復の早い」といった、しなやかで強い様を表す言葉です。東日本大震災の被災地では、都市や社会のさまざまなシステムが崩壊し、本来行われるべき機能がすべて停止しました。今後は、こうした不測の事態が起こっても、事前に確立されたバックアップの仕組みから迅速な復旧がなされ、システムやサービスが継続されるような、本当の意味でのサステナビリティ（持続可能性）の実現を、「レジリエント」という言葉に込めています。

会議コンセプトに基づいて会議では、7つの項目に焦点を当てる

1.Safety and traffic management

交通安全・渋滞の解消へのさらなる取り組み

2.Next generation mobility and sustainability

持続可能な交通社会の実現に向けた次世代モビリティへの取り組みとエネルギーマネジメントとの融合

3.Efficient transport systems in mega cities/regions

メガシティにおける人とモノの移動の効率化

4.Intermodal and multimodal systems for people and goods

人の移動・モノの輸送におけるインターモーダル・マルチモーダル※

※:鉄道車両、トラック、船舶、航空機等の異なる輸送機関を複数組み合わせる輸送形態

5.Personalized mobility services

モバイル機器等を用いたモビリティのための個人向けサービス

6.Resilient transport systems for emergency situations

レジリエントな交通社会システムの構築

7.Institutional issues and international harmonization

グローバル連携や共通の課題解決に向けた取り組み

大会全体構成

	構成分類	概要	開催日時
①	開会式 閉会式		10/14 10/18
②	セッション(会議)	全体会議、エグゼクティブセッション、スペシャルインタレストセッション、テクニカル/サイエンティフィックセッション、インタラクティブセッション	10/15～10/18
③	展示		10/15～10/18
④	ショーケース	未来のITSとして、実用段階のものやこれからの実用化を目指すものを見学、体験していただくもの。19件設定。	10/15～10/18
⑤	テクニカルビジット	有料募集式で参加者を運用場所へ移動し見学、体験させるもの。9件設定。	10/15～10/18
⑥	ポストツアー ゲストツアー	国内各地で会議開催期間後に実施するテクニカルビジット。6件設定。参加者、会議登録者の同伴者が会議期間中に観光や見所に行くもの	10/19、10/20 各設定日
⑦	ソーシャルイベント	ウェルカムレセプション、GALAディナー、アジア太平洋地域主催レセプション	各設定日
⑧	アトリウム企画イベント	欧米アジア太平洋の合同企画 共同展示(10/15～10/18) ITSリーダーによる公開ディスカッション(10/15、10/16) 3イベント(CEATEC/東京モーターショー)連携トーク(調整中) 市民向けトーク(東京都企画:10/17、10/18)	10/15～10/18
⑨	欧米アジア太平洋地域と連携した特別企画	高度運転支援・自動運転デモ	10/15～10/18

従来の世界
会議としての
構成

東京大会
の特徴

セッションスケジュール

国際フォーラムで開会式、ビッグサイトで約250セッション、閉会式は基調講演3と併せて実施

※ 丸数字はP.12「大会全体構成」の表記

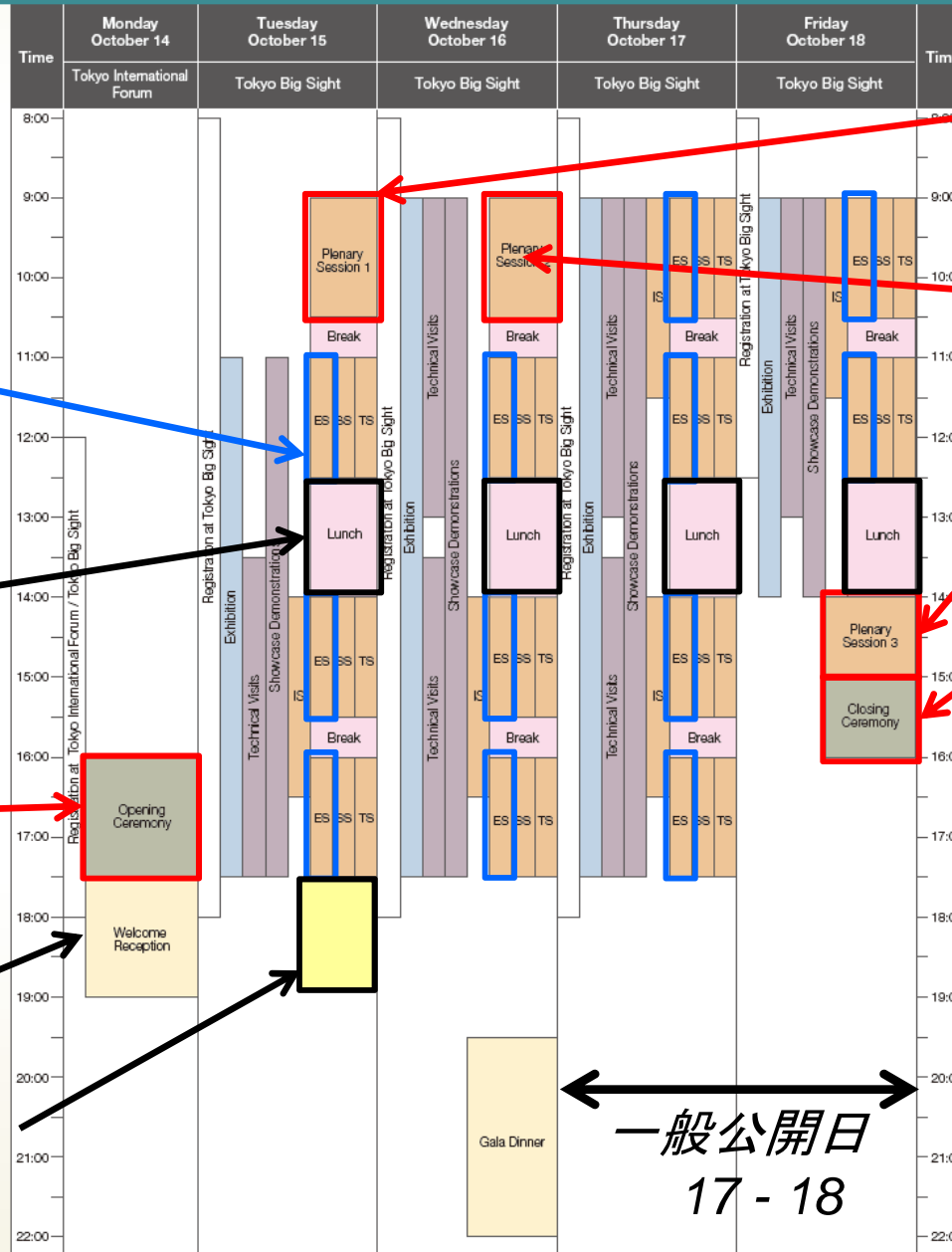
②エグゼクティブセッション(12)

⑧アトリウムイベント(4)

①開会式

⑦全体レセプション

⑦アジア太平洋地域主催レセプション



②全体会議 1
(スピーチ&パネル
ディスカッション)

②全体会議 2
(スピーチ&パネル
ディスカッション)

②全体会議 3
(スピーチのみ)

①閉会式

10/15-16は、専門家の方々の参加、10/17-18は、一般公開日として、一般の方も専門家の方々と一緒に参加していただく。また、学生や生徒の呼び込みも積極的に図る。会議登録によるセッションへの参加は無理でも、国際的なITSの状況が理解できるようなトークをアトリウム会場で体験可能とする。

一般公開日
17 - 18

市民参加について

- **市民参加の一般公開日**
 - ・ ITS世界会議東京2013開催期間中の10月17日(木)、18日(金)の2日間
- **市民参加の対象**
 - 1 学生
東京会議にAP地域から論文を投稿し採択された学生 ⇒ 44件
 - 2 生徒
中学生以上の生徒を対象に学校経由で参加案内を実施し、希望校を受け入れ
 - 3 一般市民(大人)
マスメディア等による広報活動により周知し、来場者を受け入れ
幼児・児童は、保護者同伴で参加いただく事とする
- **市民参加の意義**
 - 1 学生
最先端の科学技術を支える次世代の人材育成を支援する
 - 2 生徒
 - ・国際感覚の醸成、世界を舞台に活躍する人材の育成
 - ・理科離れ対策、ものづくり人材の育成・裾野の開拓
 - 3 一般市民
 - ・ITSに触れ理解を深めて頂く機会の提供
- **市民公開の周知**
 - ・ 東京都や組織委員会のWEBやマスメディア等による広報により広く周知を図る

全体会議

<p>PL 1</p>	<p>Open ITS to the Next : Aims and issues in moving towards the next stage</p>
<p>行政(国)</p>	<p>会議テーマOpen ITS to the Nextに関連して、各国・地域から次世代のビジョン・政策を紹介し、モビリティの質を上げるための政策論を展開。</p>
<p>PL 2</p> <p>自治体</p>	<p>Improving Quality of Mobility in Mega-cities/regions</p> <p>巨大都市圏における都市交通、公共交通、のあり方を議論。 (LRT※1、BRT※2、自動車、自転車などの組み合わせに交通最適化など)</p>
<p>PL 3</p> <p>有識者</p>	<p>Beyond ITS : from conventional approaches to four aspects of “open”</p> <p>革新的な技術のさらに先にある地平線の技術を俯瞰し、どのような世界が出現するかに思いを寄せながら、東京会議の総括とする。</p>

※1: Light Rail Transitの略で、次世代型路面電車システムのこと。具体的には、低床式車両の活用や軌道・電停の改良による乗降の容易性、定時性、速達性、快適性などの面で優れた特徴を有する次世代の軌道系交通システムである。

※2: Bus Rapid Transitの略で、バス高速輸送システムのこと。具体的には、バスを用いて都市域での大量公共旅客高速輸送を実現するシステムである。

エグゼクティブ セッション

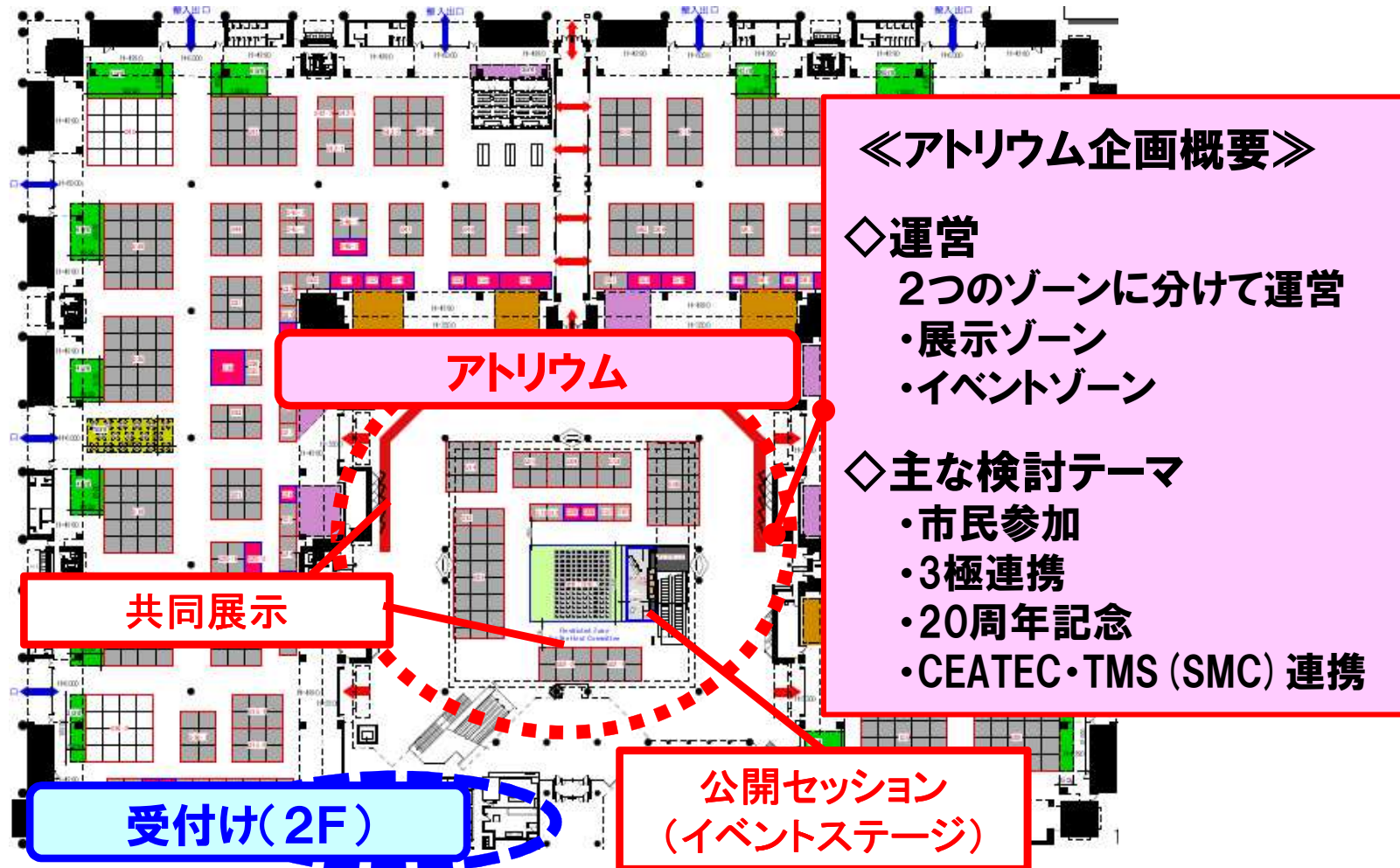
1	Benefits and Returns on Investment for Real World ITS Applications	ITS導入による交通課題解決の効果、投資対効果
2	Emerging business opportunities for GNSS technology	衛星測位技術を活用したビジネスチャンス
3	Autonomous Vehicles -- The Path to Implementation	自動運転 - 実用化への道のり
4	International Spectrum Allocation Policies	各国の周波数割り当て政策
5	Connected Vehicles-Preparing for Deployment	協調型システムの実用化に向けて
6	ITS Policy and Vision	ITSの政策とビジョン
7	Progressing safety for all users through ITS	世界におけるITSを活用した交通安全の取り組み
8	Cooperative strategies for urban traffic management	都市の協調型交通マネージメント戦略
9	Deployment of cooperative safety and energy efficient services	協調型安全運転支援およびエネルギー効率向上
10	ITS enabling next generation mobility	次世代モビリティを支えるITS
11	The New Normal: the integration of ITS with other technology sectors	ITSと他の技術分野との融合
12	International cooperation – acceleration for ITS development and deployment	ITSの開発および実用化における国際連携

式典 式典全体の統一コンセプトを「東京MATSURI」とし企画

イベント	日時	会場	参加者数(想定)	主な内容
開会式	10月14日(月) 16:00～17:30	東京国際フォーラム ホールA	2,500名	主催者挨拶 アトラクション (よさこい、和太鼓) 等
ウェルカムレセプション	10月14日(月) 17:30～19:00	東京国際フォーラム ホールB7 & B5	1,000名以上	飲食物による接遇 参加者間の歓談・交流 等
展示会公式リボンカット (展示会オープニング)	10月15日(火) 11:30～11:45	東京ビッグサイト アトリウム、西1・2ホール	—	主催者挨拶 リボンカット プレス内覧 等
AP地域主催レセプション	10月15日(火) 17:30～19:00	東京ビッグサイト アトリウム特設会場	—	飲食物による接遇 参加者間の歓談・交流 等
GALAディナー	10月16日(水) 19:30～22:00	椿山荘(オリオン)	1,000名	主催者挨拶 アトラクション 等
閉会式 & 基調講演3	10月18日(金) 14:00～16:00	東京ビッグサイト 国際会議場	1,000名	主催者挨拶 Passing the Globe 等

展示場及びアトリウムレイアウト (案)

- ビッグサイト西館(1階 屋内20,000m²、700小間)にて実施
- 現在、出展社募集中(申込状況: 99% ※6/26現在)



アトリウム企画検討（案）

検討中の概略検討案（市民の方にも楽しんで頂けるイベントを企画）

◇イベント検討（案）

お昼休みを使ったイベント

1. 世界のITSリーダーによるトークショー（3極連携）
 - ・協調型運転支援と自動運転の将来、ITSビッグデータ に関して
2. CEATEC、東京モーターショー連携トーク/シンポ（3イベント連携）
 - ・高度運転支援等共通テーマを設定してシンポ企画
3. 市民向けトーク/対談
 - ・東京都の市民向けトーク/対談

お昼休み以外のイベント

1. 遠隔地デモの様様をライブで実況放映
2. 東京世界会議各プログラムの様様を映像放映
3. ITS推進している自治体の取組み紹介

◇展示検討（案）

1. ITSの歩みと世界会議20周年展示
2. 年表形式のパネル展示以外の表現方法（タブレット、ナビとのリンク等）
3. 3極連携展示（自動運転、都市CO2排出量削減、災害）

日本の元気を発信！



「自動車×情報通信×エレクトロニクス＝未来」

世界をリードする安全・安心・エコで快適な
未来の暮らしをデザインする最先端テクノロジーを集結。
3イベントの共同PR展開や共通テーマ(高度運転支援等)による
シンポジウムなどを実施。

「CEATEC JAPAN 2013」

・10月1日(火)～5日(土) 幕張メッセ

ITS世界会議東京2013

・10月14日(月)～18日(金) 東京ビッグサイト

「東京モーターショー2013」

・11月22日(金)～12月1日(日) 東京ビッグサイト

ショーケース

未来のITSとして、実用段階のものやこれからの実用化を目指すものを見学、体験していただくもの

ショーケース最新状況について6月12日にWEB上にプレミナリプログラムとして公開。
各ショーケースの実施場所は、次ページに各番号(S01,N01,M01,R01等)にて表示。

S: Safety and traffic management / 交通安全・渋滞解消へのさらなる取組み

S01	GS 次世代DSSS (I2V)	警察庁、警視庁、UTMS協会、UTMS協会会員会社
S02	GS通信利用型先進安全自動車 (V2V, V2P)	国土交通省自動車局、ASV推進検討会(ASV5デモ対応タスクフォース)、ASVメンバー会社等(16社)
S03	GS 高速道路サグ部の交通円滑化サービス (I2V, V2V)	国土交通省道路局、国土技術政策総合研究所、スマート交通流制御研究会(カーメーカー5社)、道路新産業開発機構
S04	GS ITSスポットサービス (I2V)	国土交通省道路局、国土技術政策総合研究所、道路新産業開発機構、首都高速道路、「ITSスポットショーケース」プロジェクトチーム
S05	GS モバイル通信とITSスポットの協調サービス (I2V)	国土技術政策総合研究所、道路新産業開発機構、東日本高速道路、中日本高速道路、首都高速道路、次世代の協調ITSに関する共同研究メンバー会社(2社)
S06	「進化する道路交通情報通信システム」～VICSサービスは次世代へ～	道路交通情報通信システムセンター
S07	コミュニティ・ゾーンにおける安全支援	アイシングループ(アイシン精機)
S08	ホンダ モビリティ協調デモンストレーション	本田技研工業
S09	高速道路における高度運転支援技術	トヨタ自動車
S10	画像センサーを活用した交差点信号制御	東京大学、警視庁

N: Next generation mobility and sustainability / 持続可能な交通社会の実現に向けた次世代モビリティ

N01	自動車技術会カー・ロボティクス調査研究委員会企画「自動運転システム」	自動車技術会カー・ロボティクス調査研究委員会企画企画機関(金沢大学、ゼットエムピー、東京理科大学と産業技術総合研究所の合同チーム、その他関連研究機関)
N02	スマートチャージングデモ	デンソー
N03	エネルギーITS自動運転隊列走行システム	経済産業省
N04	スマートシティソリューションズガイドツアー	パナソニック

M: Personalized mobility services / モビリティのための個人向けサービス

M01	屋内シームレス測位基盤・ナビゲーションデモ	WYSIWYASナビゲーションコンソーシアム
M02	長崎電気軌道の低床車両と位置情報配信システム「ドコネ」	長崎市LRTナビゲーション推進協議会

R: Resilient transport systems for emergency situations / レジリエントな交通社会システムに向けた取組み

R01	震災時における道路交通情報等の提供の仕組みの体験	東京都
R02	災害時における空き帯域を活用した車車間通信ネットワーク ーホワイトスペースのクルマ利用ー	トヨタIT開発センター、情報通信研究機構
R03	先進的ITS救急医療支援システム	AACN救急医療支援サービス研究会

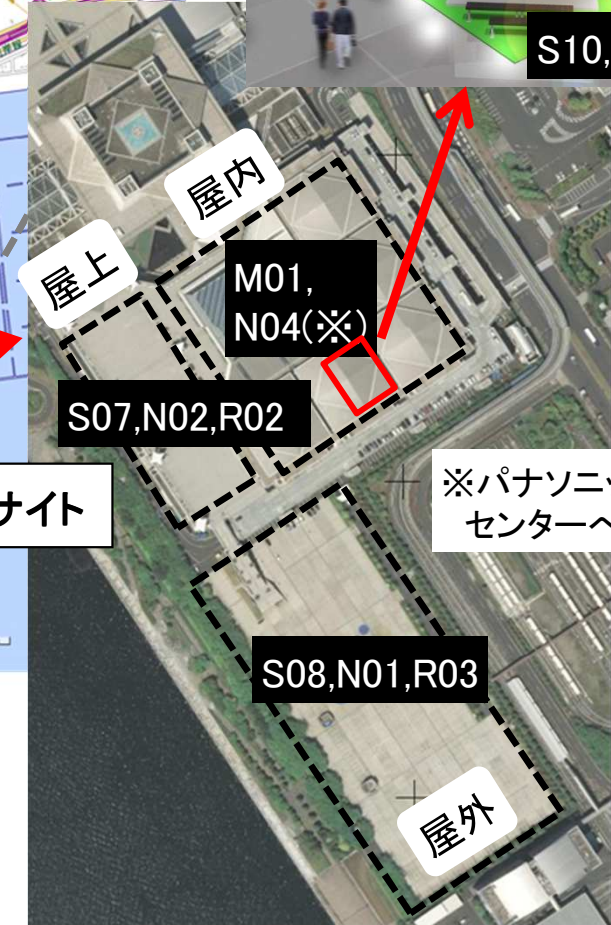
ショーケース

実施場所

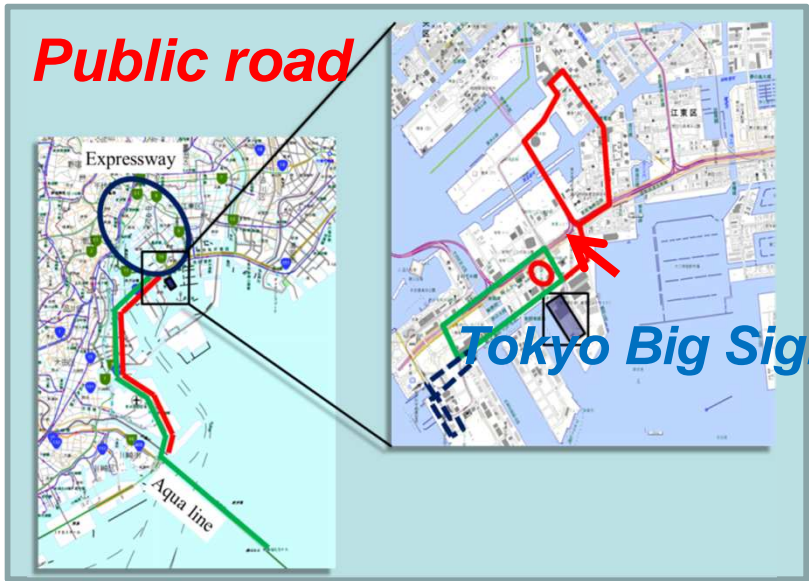
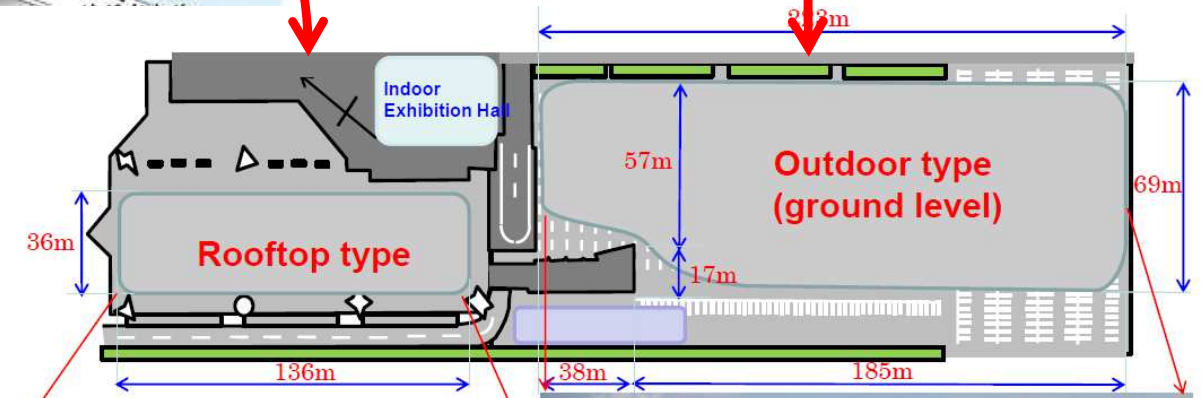
公道(一般道、高速道)



ショーケースブース



ショーケース会場(屋外・屋上)



日本の官民が連携して推進する世界最先端の“協調型 ITS サービス” 体験ショーケース

次世代DSSS (I2V)

センサ情報を用いた交差点での安全運転支援と
信号情報を活用したスムーズな交差点通過支援



通信利用型先進安全自動車 (V2V, V2P)

車車間、歩車間通信技術を活用した
安全運転支援システムを実現



ITS GREEN SAFETY

世界一グリーンで安全な道路交通社会の実現

高速道路サグ部の交通 円滑化サービス (I2V, V2V)

ITSスポットとACC/CACCを用いて
高速道路サグ渋滞の緩和



ITSスポットサービス (I2V)

安全、快適な運転を支援する世界初の
協調ITSを実現



モバイル通信とITSスポット の協調サービス (I2V)

新しい交通情報サービスによる
安全で快適な都市交通を提供



テクニカルビジット(会期内での有料視察)候補一覧

ツアー名	概要
警視庁交通管制センターと東京都防災センター	<ul style="list-style-type: none"> ・警視庁交通管制センター:スムーズな交通流を実現するために7,000基以上の交通信号機を制御。大規模災害のような非常事態に備える機能がある。 ・東京都防災センター:大規模地震等の発生時には、都知事を長とする災害対策本部が設置され、自衛隊、警察、消防など防災機関との情報連絡や、災害対応全般のオペレーションを行う拠点。
「ゆりかもめ」中央指令室と公共交通乗車体験	<p>新交通システムを含むスムーズで便利な公共交通機関の乗車体験。 1枚のICカードで、3路線を乗り継いで確実に時間通りに移動できることを体験。 (「ゆりかもめ」中央指令室の見学やビデオ視聴も含む)</p>
臨海トンネル監視センターと大井コンテナターミナル	<ul style="list-style-type: none"> ・臨海トンネル監視センター:4本のトンネルと2つの橋を総合監視。 ・大井コンテナターミナル:効率的出し入れを可能とする革新的なコンテナ専用立体格納庫を保有。この世界初のシステムがどのようにヤード利用の効率化と環境改善をしたかについて見学する。また、「東京ゲートブリッジ」を車内から見学する。
先進の交通管制センターとVICS	<p>日本で最大規模の警視庁交通管制センターと最新鋭の千葉県警交通管制センターを見学する。移動中のバス内では、現在運用中のVICSと開発中の次世代VICSを紹介する。これらを通じて、交通管制、信号制御、交通情報、プローブ情報等を活用した情報提供など、先進的な交通管理システムの理解を深める。</p>
横浜みなと未来V2I ～交通管制センターの見学と路車協調システムの体験～	<p>神奈川県警交通管制センターを見学し、最新の交通信号の制御と路車協調システムを体験する。プロファイル信号制御導入路線をバス乗車にて体験する。 また、歩行者等支援情報通信システム(PICS)と路車間通信利用安全運転支援システム(DSSS)と世界初の路車協調信号制御システム(V2I)を体験する。</p>
横浜スマートモビリティ	<p>横浜市における次世代交通ビジョンを自治体とモビリティ企業等のコラボレーションにより発信する。YOKOHAMA Mobility “Project ZERO”(YMPZ)、横浜スマートシティプロジェクト(YSCP)のフィールドで、先進的環境づくりを推進する「みなとみらい21」エリアで、次世代交通ビジョンの一場面を体験する。 (低炭素の超小型モビリティ/モビリティ&エネルギーマネジメント&ICT)</p>
柏ITSスマートシティ	<p>「柏ITSスマートシティ」構想によるまちづくりとモビリティ活用について、東京大学柏キャンパスと柏の葉アーバンデザインセンター(UDCK)を訪問し、キャパシタEV、オンデマンド交通、パーソナルモビリティ、複合現実感(MR)による交通状況の可視化のような様々な革新的なITSテクノロジーを見学する。</p>
Hondaスマートホームシステムとソーラー水素ステーション	<p>埼玉県さいたま市及び埼玉県庁に設置されたHondaスマートホームシステムやソーラー水素ステーションを訪問し、電気自動車や燃料電池電気自動車と連携したHondaの先進的な環境エネルギー技術を体験する。</p>
高速道路交通管制センターと保守運用設備	<p>日本で最大の高速道路会社の1つであるネクスコ中日本が、先進的な川崎交通管制センター、海老名SA、最新のITS技術を活用した道路維持管理車両を紹介する。海老名SAには巨大ショッピングモール等の楽しめる多くの設備あり、そこで駐車場誘導、情報ターミナル、非接触EV給電などを体験する。</p>

ポストコングレスツアー(会期後の有料視察)候補一覧

ツアー名	概要
あいち／豊田ITSサムライツアー	<p>無線通信を使った安全運転支援システム(DSSS)、最新のITS技術と低炭素社会の融合を実現した「とよたエコフルタウン」、ITS技術を使って中部地域の道路情報を収集・提供する「統合道路情報管理センター」を見学する。さらに、「トヨタ会館ミュージアム」の見学、磁気浮上式リニアモーターカー「リニモ」の試乗、サムライの歴史に触れることのできる徳川美術館・名古屋城を見学する。</p>
長崎EV&ITS ～エコアイランド五島へ～	<p>「長崎EV&ITS(エビッツ)」は140あまりの島から成る五島地域で行われている、EV等とITSが連動した「未来型ドライブ観光システム」の構築や、EVとエネルギーシステムが連携した「エコアイランド」の実現を目指すプロジェクト。参加者は「遣唐使ふるさと館」で急速充電をしたり、EVやITSスポットを用いて「未来型ドライブ観光」を体験すると共に、世界遺産候補の1つである五島地域の自然の素晴らしさや遣唐使・キリスト教等につわる史跡も見学する。</p>
新東名高速道路ツアー ～次世代高速道路～	<p>新東名高速道路のドライブを通して最新のITS技術と観光を体験する。テクニカルビジット「高速道路交通管制センターと保守運用設備」と同じ川崎交通管制センターを訪問し、新富士ICにて最新の遠隔対応料金設備、駿河湾沼津SAにて維持管理車両デモ、駐車場誘導、非接触EV給電などを体験する。</p>
釜石市のオンデマンド 交通システム	<p>東日本大震災の甚大な被害から再建中の釜石市のオンデマンド交通システムを見学する。被災地交通支援に対するITS技術の活用事例として、復興による街の発展に伴って変化する住民の移動ニーズ(仮設住宅、仮設店舗から復興住宅、常設商業地)に対応可能なオンデマンド交通システムを紹介する。あわせて世界遺産「平泉」も見学する。</p>
エネルギーITS自動運転隊列走行 システム	<p>エネルギーITSプロジェクトでは、自動車からのCO₂排出量削減、省エネルギーを目的としてトラックの自動運転隊列走行システムの技術開発を行った。走行デモンストレーションという手段によって、こうした技術の進展度と近い将来の走行システムの姿を具体的な形で提示する。</p>
広島における世界初の路面電車 - 自動車間通信ASVデモ	<p>車車間通信車載器を装備した広島市内の一般道を走行する広島電鉄車両とマツダ乗用車間による『接近情報通知サービス』を体験する。また、体験の前後で、マツダミュージアムと2つの世界遺産(厳島神社、原爆ドーム)を見学する。</p>

スポンサー

(6月5日現在)

ダイヤモンドスポンサー

TOYOTA

ゴールドスポンサー



シルバースポンサー



ブロンズスポンサー



フレンドスポンサー



スポンサー

NAVITIME

2013年のITS世界会議東京へ参加を！

JOIN and SHARE



<http://www.itsworldcongress.jp/japanese/>